

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-1

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度：平成29年度～平成33年度＞

事業名	競馬普及啓発事業	定款条項	第4条第1項第1号事業【ばんえい競馬の普及啓発及び地域振興に関すること】	評価年月	平成29年1月
-----	----------	------	--------------------------------------	------	---------

事業運営方針	○十勝・帯広の観光資源であるばんえい競馬の普及啓発とファン誘致を通じて、地域振興に資するための事業を行う。				
本計画の目標	1	観光資源であるばんえい競馬の普及啓発とファン誘致推進	3	冠競走の充実によりレースの質の向上とファン拡大	
	2	ばんえい競馬の楽しみ方を多くのファンに伝え勝馬投票券の発売促進	4	ばんえい十勝の情報発信や広報活動などプロモーションの充実	
具体的な取組み	1	カレンダー・招待券等無償配布(会員、関係団体、地元企業等へ配布)	3	当協会冠競走の褒賞(賞状、副賞の提供⇒年4レース)	
	2	競馬場等におけるイベント開催(JRAジョッキードAY、初夢抽選会等)	4	ホームページ等で情報発信(イベント・トピックス情報、馬主だよりなど)	

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース) (単位:千円)

年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益	0	0	0	0	0
内訳					
経常費用	6,011	6,027	5,868	5,645	7,470
内訳					
普及啓発事業費	2,383	2,007	1,953	1,767	2,910
事業管理費	3,628	4,020	3,915	3,878	4,560
経常外費用	0	0	124	△ 28	0
他会計振替額	6,011	6,027	5,992	5,617	7,470

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①当協会設立の目的は、ばんえい競馬の発展と地域振興に寄与することであり、これまで「公益目的支出計画」により実施してきた、いずれの事業も規模の大小はあっても継続的に実施していくことが必要だと考えられることから、関係団体等との連携強化を図るとともに、当法人の特質を活かした取り組みを行っている。	【課題】 ①人的資源が限られているため、事業運営には機動的かつ柔軟な対応が難しいという面がある。 ②常に費用対効果と継続性を意識した視点が必要。
---	--

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①ばんえい競馬の情報発信、普及啓発にあたってはターゲットを絞り込み広報やイベントを通じ当事者とのふれあう機会を持つなど地域と関係諸団体が一体となり連携を緊密に図りながら広報業務の補完的な活動を推進する。 ②当協会冠競走のレース数拡大(現行4レース) ③情報媒体などを活用した集中的な広報展開とインターネットによる情報提供の充実。	【見直し改善案】 ①当協会冠競走のレース数を現行の4レースから6レース程度に拡大。 ②イベント内容等事業、予算規模を検討。(同様・拡大・縮小)
---	---

◎評価基準

A	現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B	現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	○
C	現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	△
D	現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E	現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F	現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	○
G	この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】
当該事業については、基本的にはこれまで同様継続するべきだが、当協会の財政状況も見極めながら毎年予算規模については、見直しながら実施するべきである。冠競走については、現行同様4レースで継続する。

判定
A